

「パジャマで仕事生活」脱出! 社員を雇い、受注態勢確立



東海さんの憧れだった役員イス・役員机も事務所移転の際に購入。それに伴い、社長としての自覚・責任感もまた一段と感じるようになった。

車で通えて一安心! PC教室の生徒も満足

開業時、東海さんは自宅の2階スペースを仕事場に充てていた。仕事はシステム開発をメインにパソコン教室までIT全般の仕事をこなしていたため、自宅では何かと不自由なことが多かった。

第一の懸案だったのが人材の採用だ。SEとしての仕事が順調に推移していくにつれて新しい人材が必要となったが、夜遅くなることも少なくない仕事だけに個人宅では

支障も多い。また個人宅では大勢の生徒を集めるわけにはいかないため、パソコン教室では積極的な生徒の募集をしなかった。当然ながら、一人がこなせる作業量には限界がある。このままていくと、目の前にある仕事をみすみす逃すことにもなりかねない。こうした問題を解決するために東海さんは、事務所を借りることを決意。今では45㎡の会社で、社員3名、アルバイト1名と共に快適なビジネスライフを送っている。

加えて事務所を移転したことで、思わぬメリットも表れた。

お金を生む! 東海さんのデジタル秘密基地

セキュリティ万全、データ共有でコラボ加速!

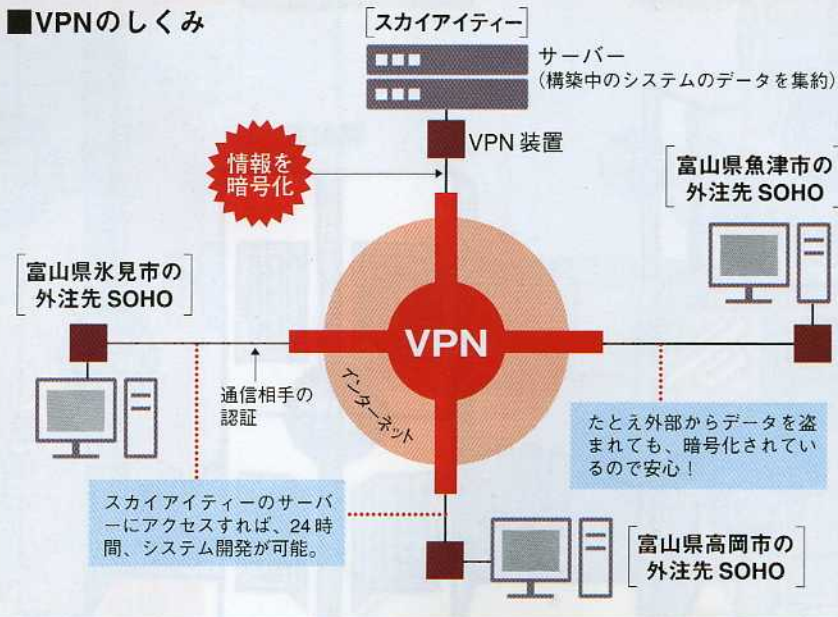
※VPNとは何か?

Virtual Private Networkの略で、「仮想の専用線」の意。インターネットの公衆回線を暗号記号を使うことによってあたかも専用回線であるかのように利用できるサービス。VPN技術は、データの改ざんや盗聴等を防ぐためにデータを複雑にする「暗号化」と、端末間のすべての通信を束ねることでルーター間の通信にみせかける「トンネリング」の2つが主な特長だ。安全かつ安価で設定できるためSOHO事業者にとって注目されている。

VPN機能の付いたブロードバンドルーターは、YAMAHA「RTA55i」(写真右側)。ちなみに写真左側はADSLモデム。ネットワーク構築の際には、写真下の本を参考にした。



■VPNのしくみ



大きな案件の受注が契機

今年2月、大仕事を受注した。この案件は社員だけでは対応できず、外部の協力が必要だった。ところがオラクル社のデータベースシステムで動くシステムはデータが100GBと大容量だったので、外注するときシステムを動かすための環境構築が困難だった。また物理的に事務所に集まっても

らうわけにもいかなかった。そこで自社にサーバー環境を構築し、VPNを利用しアクセスしてもらうことで、距離に関係なく外部からの開発が可能になった。外注先は現在3人で氷見市、高岡市、魚津市のSOHO。成果物(システムや課題)をサーバーに入れるだけで、システムの構築状況が一目で確認できる。全行程が終了すればID、パスワードを無効にすることで開発は終了する。